

平成24年度の決算について

第3回町議会定例会（9月9日～12日）で平成24年度各会計の決算が認定されました。

全会計の決算総額は、収入が66億3359万円、支出が64億5132万円となり、収入が支出を1億8227万円上回りました。

決算の概要について、一般会計を中心にお知らせします。

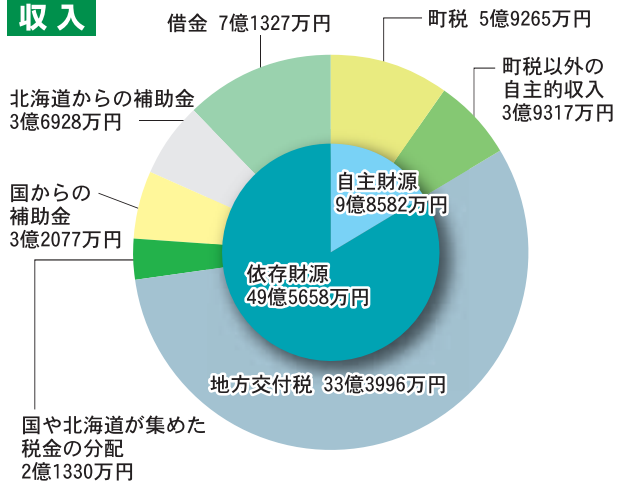
なお、詳細は「まちづくり読本」（決算説明書）に掲載されています。

平成24年度各会計決算額

会 計		収 入	支 出	収入－支出
一 般 会 計		59億4240万円	57億7314万円	1億6926万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3億7250万円	3億5964万円	1286万円
	後期高齢者医療特別会計	9357万円	9342万円	15万円
	下水道事業特別会計	1億9092万円	1億9092万円	0円
	農業集落排水事業特別会計	3420万円	3420万円	0円
合 計		66億3359万円	64億5132万円	1億8227万円

一般会計の収入と支出の内訳

収入



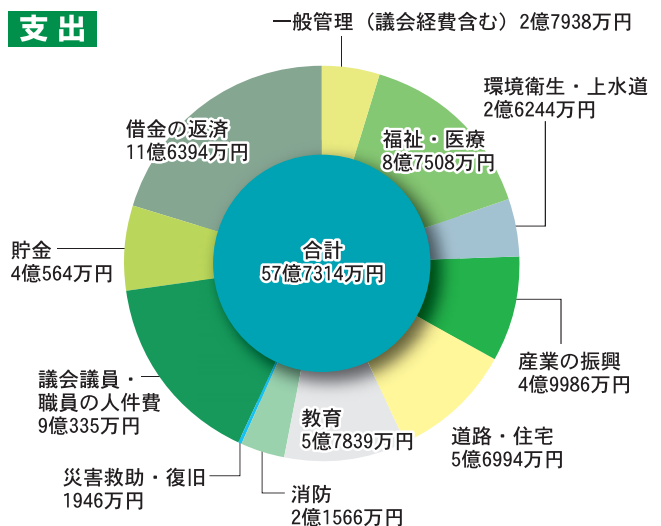
ポイント

自主財源とは、まちが直接受けるお金です。

依存財源とは、国や北海道から受けるお金や借入金です。

自主財源の割合は16.6%となっており、大部分の収入を依存財源に頼っている状況です。ただし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、地方公共団体が自由に使える固有の財源ですので、「自主財源の割合が低い＝まちの財政状況が厳しい」ということではありません。

支出



ポイント

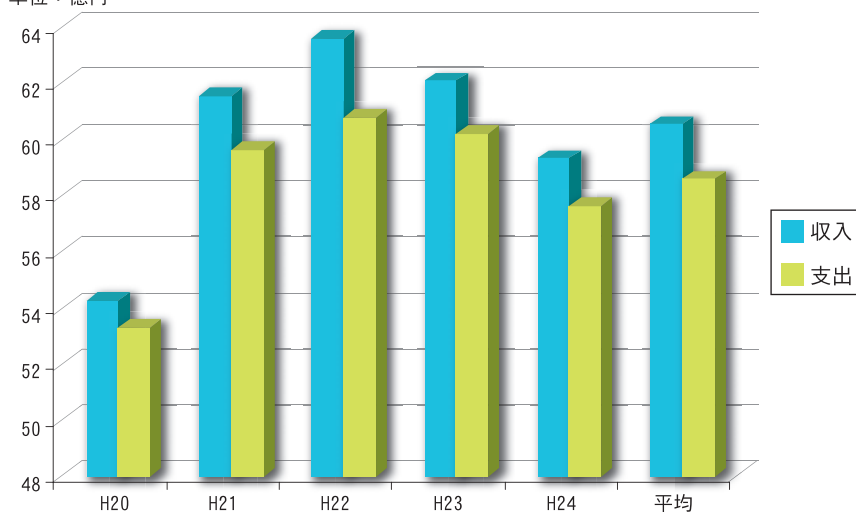
道路改良事業費の減少や公営住宅建設事業の完了などにより、道路・住宅に関する経費が前年に比べ2億円減少しました。

教育に関する経費は、中学校武道場建設に2億3000万円支出しています。

借金の返済に11億6000万円支出していますが、そのうち4億3000万円が繰上償還によるものです。

過去5年間の一般会計の収入と支出の推移 ～毎年黒字を維持しています～

単位：億円

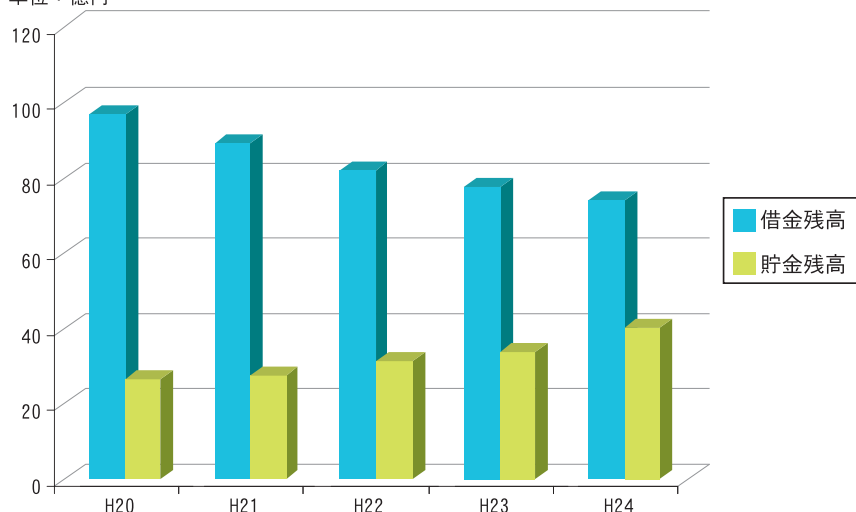


過去5年間の収入と支出の平均は、収入が約60億2000万円、支出が約58億3000万円となっており、1億9000万円ほどの黒字が発生しています。

多少の増減はありますが、新十津川町の一般会計は、概ね60億円程度の規模で運営されています。

過去5年間の全会計の借金と貯金残高の推移 ～借金は減り、貯金は増えています～

単位：億円



過去5年間で借金は23億9000万円減少し、貯金は11億5000万円増加しています。平成24年度末では、借金は72億7000万円、貯金は38億円となっており、借金が34億7000万円多くなっています。

この借金には、返済時に国から補てんされるものが含まれているため、実質の借金は、もっと少なくなります。

健全化判断比率と公営企業資金不足比率 ～健全な財政運営ができています～

指標	健全化判断比率				資金不足比率
	実質赤字比率 <small>一般会計の赤字の大きさ</small>	連結実質赤字比率 <small>全会計通算の赤字の大きさ</small>	実質公債費比率 <small>負債の返済額の大きさ</small>	将来負担比率 <small>平成25年度以降支払わなければならない負債の大きさ</small>	
早期健全化基準 <small>(右の水準を超えると黄信号)</small>	15%	20%	25%	350%	20%
新十津川町の比率	—	—	6.9%	—	—
説明	赤字はありません	赤字はありません	健全な水準です	借金残高を、償還財源が上回ります	赤字はありません

健全化判断比率と資金不足比率は、まちの財政状況が悪くないかを確認するための指標で、法律によって公表することが義務付けられています。新十津川町は、すべての会計で赤字はありません。負債の返済額の大きさは、北海道の市町村の中でも良い水準を保っています。また、将来支払わなければならない負債も無理なく返済できる金額となっています。